



目次

(1) バリアフリー推進ネットワークからのお知らせ

交通バリアフリー推進の集い結果報告

交通バリアフリー推進の集い、交通バリアフリー推進セミナー報告書配布について

営団地下鉄「バリアフリーマップ」小冊子配布開始

京王電鉄 時刻表HTML

(2) ネットワーク参加団体からのお知らせ

荒川区基本構想点訳版・音訳版（あふネット）

荒川区交通バリアフリー基本構想・あふネットの取り組み点訳版、音訳版（あふネット）

旅客船及び旅客船ターミナルにおけるバリアフリーに関する調査研究（(社)全国脊髄損傷者連合会）

船員研修用ビデオ、DVDの販売について（(社)日本旅客船協会）

(3) エコモからのお知らせ

ホームページをリニューアル

らくらくおでかけネットの提供“福祉タクシー情報の追加”

公共交通ターミナルのバリアフリー度評価について

(4) 行政からのお知らせ

公共交通に関するアンケート調査のお知らせ

交通バリアフリー法基本構想策定状況

(5) 各種催し物のお知らせ

第10回高齢者・障害者のモビリティと交通に関する国際会議 TRANSED 2004

第14回シルバーサービス展

(6) その他

書籍に関して

記事募集中

お願い（必ずお読みください。）

・転送先について

・送付先について

コラム

(1) バリアフリー推進ネットワークからのお知らせ

交通バリアフリー推進の集いの結果報告

11/14(金)、「第2回交通バリアフリー推進の集い」を国立オリンピック記念青少年総合センター 小ホールにて開催いたしました。バリアフリー優秀施設・優秀活動として、「帝都高速度交通営団」、「地域振興整備公団静岡東部特定再開発事務所」、「都立大学駅周辺バリアフリーのまちづくり推進協議会」、「株式会社ラジオ福島」、「板橋福祉のまちをつくろう会」が大賞を受賞しました。また、ネットワーク参加団体の活動事例として、「NPO 法人きっかけづくりの会」と「バリアフリー教育ネットワーク」が活動報告しました。また、今年は、小中学生による交通バリアフリー体験報告として青森県、沖縄県石垣島、岡山県の小中学生にバリアフリー教室での体験報告をしてもらいましたが、参加者の多くの方は、生徒さん達のお話に感動したようでした。パネルディスカッションは「まちづくりと交通バリアフリー～市民参加による推進～」と題し、議論を深めました。当日は、ネットワーク参加団体の他に、自治体、交通事業者等、188名ものご参加を頂きまして、大変ありがとうございました。

当日に配布させて頂きました資料を、ご希望の方はご連絡ください。後日、集いの概要版をホームページに掲載する予定です。

また、この集いに関する感想をお送り頂ければと思います。良かった点、改善すべき点、開催会場、ネットワークについて等々何でも結構ですので、下記宛先まで郵送、FAX、E-mailでお送りください。

宛て先：バリアフリー推進ネットワーク事務局（交通エコロジー・モビリティ財団） 宛
〒102-0083 千代田区麹町5-7秀和紀尾井町TBRビル808
FAX番号：03-3221-6674 E-mail：ecomomail@ecomomail.or.jp

交通バリアフリー推進の集い、交通バリアフリー推進セミナー報告書配布について

本年度の交通バリアフリー推進の集いの当日配付資料をご希望の方は、ご連絡ください。また、平成13年度1年間で、全国10カ所で開催しました交通バリアフリー推進セミナーの報告書を作成しました。また、当日配付資料もございますので、ご希望の方は、ご連絡ください。

FAX：03-3221-6674 E-mail：ecomomail@ecomomail.or.jp

営団地下鉄 「バリアフリーマップ」小冊子配布開始

「バリアフリー便利帳2003」が営団地下鉄より発行されました。営団地糧宇全駅のバリアフリー施設が一覧で見ることができる。

京王電鉄 時刻表HTML

12月1日のダイヤ改定に伴い、携帯電話のサービス「京王ナビ」や京王電鉄HP内の各適時酷評の更新が行われました。朝・深夜時間帯の増発による混雑緩和や女性専用車両表示にも対応しているとのことです。アドレス：(パソコン版) <http://www.keio.co.jp/>

(携帯版=i-mode) <http://www.keio.co.jp/i/>

(携帯版=EZ-web) <http://www.keio.co.jp/e/>

(携帯版=Vodafone Live!) <http://www.keio.co.jp/j/>

(2) ネットワーク参加団体からのお知らせ

荒川区基本構想点訳版、音訳版(あふネット)

全国で取り組みが進んでいる交通バリアフリー法に基づく基本構想策定において、東京都荒川区の基本構想が平成14年3月25日に受理されました。その基本構想独自の概要版の点訳版(2冊組)、音訳版を、調査・策定作業に携わったあふネットが作成いたしました。現在、交通エコモ財団にご寄付頂きました資料を貸出ししております。ご興味のある方は、交通エコモ財団バリアフリー推進部までお問い合わせください。 FAX：03-3221-6674 E-mail：ecomomail@ecomomail.or.jp

荒川区交通バリアフリー基本構想・あふネットの取り組み点訳版、音訳版(あふネット)

昨年度、交通バリアフリー活動に対する助成で作成されました、「荒川区交通バリアフリー基本構想・あふネットの取り組み」が点訳、音訳されました。点訳版は4冊組、音訳版は10本組となっております。こちらの資料を貸出ししておりますので、ご興味のある方は、交通エコモ財団バリアフリー推進部までお問い合わせください。 FAX：03-3221-6674 E-mail：ecomomail@ecomomail.or.jp

旅客船及び旅客船ターミナルにおけるバリアフリーに関する調査研究((社)全国脊髄損傷者連合会)

社団法人全国脊髄損傷者連合会では、車いす使用者の利用は困難と考えられている海上交通機関に着目し、旅客船及び旅客船ターミナルのバリアフリーの現状について車いす使用者の視点から調査を実施しました。調査対象は、国内の一般旅客定期航路事業に用い供する5t以上の船舶と全国の旅客ターミナルとなっています。ご興味のある方は、(社)全国脊髄損傷者連合会までお問い合わせください。

〒134-0085 江戸川区南葛西5-13-6 TEL03-5605-0871 FAX03-5605-0872

E-mail sij@ak.wakwak.com <http://www.ak.wakwak.com/~sij/>

船員研修用ビデオ、DVDの販売について((社)日本旅客船協会)

(社)日本旅客船協会では船員研修用ビデオ、DVDを作成いたしました。今回、特に関係するのは「旅客船の接客サービス」についてです。監修段階では、交通エコロジー・モビリティ財団も参加し、障害のあるお客様の対応についても解説させて頂いております。

ビデオ・DVDタイトル(いずれも乗組員研修用と前に入ります) 全3巻

1. 旅客船の接客サービス、2. 操練の重要性、3. 緊急時の対応

ビデオは各1,700円、DVDは3本を1枚に収録してあり、6,500円となります。なお、送料は別途実費となりますので、ご了承ください。

お申込み・お問い合わせは、社団法人日本旅客船協会、河内、TEL03-3501-6766、FAX03-3580-7842

(3) エコモからのお知らせ

ホームページをリニューアル

皆様にご利用頂いている当財団のホームページですが、少々リニューアルしました。全体的にバナーボタンを見やすくするために大きくしました。また、皆様からのお問い合わせの多い事業に関して、ホットコーナー内等にまとめてみました。もっとこうしたら見やすくなる等のご提案をお待ちしています。

FAX: 03-3221-6674 E-mail: economail@ecomor.or.jp

らくらくおでかけネットの提供 ”福祉タクシー情報の追加”

現在、インターネット、携帯端末を通して、高齢者や障害のある方々が最寄りの駅から目的地の駅まで、公共交通機関を円滑に、快適に移動できるよう駅構内のバリアフリー施設、乗り換え案内等のバリアフリー情報を提供していますが、今回、全国福祉タクシー輸送サービス協会の協力を得て、これまでの駅ターミナル情報、乗り換え情報、運行情報等に、新たに福祉タクシー情報を追加しました。

現在、この福祉タクシー情報は、総合版を掲載していますが、今年の9月頃には、個々の駅単位で、最寄りの福祉タクシーが検索できるようになる予定です。

また、このらくらくおでかけネットは、平成14年1月25日より、本格運用しており、平成15年3月31日現在で、鉄道駅3,598駅、空港74、バス153、旅客船437ターミナルの情報を提供しており、14年度の1日平均アクセス件数は、1,707件でしたが、最近1週間のアクセス件数は、3,619件と大きく増加しています。特に、携帯端末によるアクセスが増えています。

なお、アドレスは下記の通りです。

アドレス:(パソコン版) <http://www.ecomor-rakuraku.co.jp/rakuraku/index/>

(携帯版=i-mode,j-sky) <http://www.ecomor-rakuraku.co.jp/rakuraku/mobile/>

(携帯版=EZ-web) http://www.ecomor-rakuraku.co.jp/rakuraku/mobile_ez/

公共交通ターミナルのバリアフリー度評価について

「公共交通ターミナルのバリアフリー度評価に関する簡易評価マニュアル」を公開しておりますが、本評価マニュアルは、あくまでも地域のボランティア、市民グループ、学生の皆様などが自主的に評価に取り組まれる時(地域の基本構想作成時などが考えられます)にお役立ていただく方法として、提供させて頂いておりますので、ご自由にお使いいただければと思います。なお、鉄道事業者等との対応に際しましては、エコモから依頼しているものではありませんので、誤解のないよう、よろしく願いいたします。

(4) 行政からのお知らせ

公共交通に関するアンケート調査のお知らせ

国土交通省では、環境にやさしい交通手段である鉄道・バス・路面電車などの利用をさらに増やしてい

くためにも、利用者の皆様方の不満やニーズなどをより詳しくお伺いしたいと考えております。このアンケートは、平日昼間や買い物、遊びに行くなど、利用の際の不満や、どんなサービスを望まれているのかなどについて伺い、今後の公共交通サービスに活かしていきたいと考えております。

なお、ご意見は統計的に処理し、本調査以外の目的に使用することは一切ございません。実施機関は平成16年1月31日までです。また、お答えくださった皆様のうち、抽選で50名様にクオカード(1,000円分)を差し上げます。ご協力をよろしくお願いいたします。

<http://www.crp.co.jp/enquete/qa2.jsp>

交通バリアフリー法基本構想策定状況(平成15年12月3日まで 受理順に掲載)

基本構想を作成済みの市区町村 97市町村(115基本構想)

福岡県福岡市、北海道室蘭市、広島県呉市、千葉県千葉市、山梨県石和町、大阪府守口市、鳥取県鳥取市、新潟県亀田町、大阪府交野市、大阪府八尾市、千葉県船橋市、北海道千歳市、大阪府堺市、福岡県大牟田市、東京都荒川区、富山県小杉町、福岡県福岡市、兵庫県明石市、香川県丸亀市、石川県金沢市、北海道恵庭市、埼玉県熊谷市、神奈川県相模原市、滋賀県守山市、大阪府河内長野市、広島県広島市、神奈川県秦野市、福岡県北九州市、大阪府豊中市、長崎県佐世保市、京都府長岡京市、長崎県長崎市、長野県諏訪市、岐阜県各務原市、岐阜県可児市、神奈川県藤沢市、千葉県柏市、福岡県古賀市、静岡県静岡市、大阪府東大阪市、富山県魚津市、千葉県袖ヶ浦市、大阪府阪南市、兵庫県宝塚市、兵庫県神戸市、東京都羽村市、東京都北区、新潟県新発田市、愛知県春日井市、静岡県焼津市、大阪府柏原市、大阪府大阪狭山市、大阪府茨木市、新潟県長岡市、愛知県名古屋市、大阪府藤井寺市、北海道遠軽町、東京都千代田区、三重県津市、宮城県仙台市、大阪府堺市(2)、鹿児島県鹿児島市、大阪府八尾市(2)、東京都武蔵野市、岐阜県穂積町、埼玉県深谷市、大阪府吹田市、東京都八王子市、大阪府柏原市(2)、北海道札幌市、兵庫県姫路市、山口県菊川町、愛知県岡崎市、福岡県大野城市、大阪府寝屋川市、滋賀県今津町、島根県多岐町、千葉県八千代市、滋賀県大津市、岐阜県岐阜市、香川県高松市、大阪府大阪市、大阪府泉南市、高知県高知市、新潟県新潟市、埼玉県東松山市、愛媛県松山市、滋賀県彦根市、山形県南陽市、岩手県盛岡市、広島県東広島市、茨城県取手市、広島県三原市、北海道北見市、福島県会津若松市、大阪府高槻市、滋賀県米原町、京都府福知山市、神奈川県津久井郡藤野町、神奈川県小田原市、新潟県糸魚川市、兵庫県西宮市、青森県青森市、神奈川県厚木市、茨城県日立市、神奈川県鎌倉市、京都府京都市、福島県いわき市、千葉県市川市、岡山県笠岡市、兵庫県加古川市、栃木県宇都宮市、東京都三鷹市、福井県福井市、大阪府豊中市

詳細に関しては、国土交通省のホームページをご覧ください。

http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha03/01/010908_.html

(5) 各種催し物のお知らせ

第10回高齢者・障害者のモビリティと交通に関する国際会議 TRANSED 2004

日程：平成16年5月23日(日)～26日(水)

場所：浜松市 アクトシティ浜松(JR浜松駅より徒歩3分)

主催：(社)土木学会、TRANSED 2004 実行委員会 <http://transed.jp/>

共催：Transportation Research Board, USA

後援：国土交通省、静岡県、浜松市、DPI 日本会議、日本盲人会連合、日本建築学会、

日本福祉のまちづくり学会、(財)国土技術研究センター、交通エコロジー・モビリティ財団他

お問い合わせ先：〒102-0083 東京都千代田区麹町5-7 秀和紀尾井町 TBR ビル 808

交通エコロジー・モビリティ財団内事務局

tel:03-3221-6673 fax:03-3221-6674 E-Mail: info@transed.jp, d-sawada@ecomio.or.jp

現在、展示会場への参加を募集しています。

第14回シルバーサービス展

日程：平成16年3月11日(木)～13日(土)

場所：池袋サンシャインシティ文化会館(B・C・Dホール)

主催：社団法人シルバーサービス振興会

参加費：無料

(6) その他

書籍に関して

交通エコモ財団では、現在バリアフリー関係の書籍、パンフレットを発行しております。ご興味のある

方は、当財団のホームページをご覧ください。

http://www.ecomo.or.jp/barrier_free/bari_f_index.html

記事募集中!

現在、次号メールマガジンに掲載させて頂ける記事を募集中です。セミナーのお知らせや、活動報告、コラム等々何でも結構です。どしどしお寄せください。掲載をご希望の方は、メールかFAXでお送りください。

コラムに関しましては、誠に申し訳ありませんが、掲載するか否かは編集担当に一任頂き、謝礼なし、とさせていただきます。

E-mail : ecomomail@ecomomail.jp FAX : 03-3221-6674

お願い(必ずお読みください。)

・転送先について

このメールマガジンを発行してから、多くの方からお申し込みを頂いております。ありがとうございます。おそらく、お読み頂いている方から、更にその他のネットワークに転送して頂いていることがあると思います。現在、どの様な所まで、このメールマガジンをお読み頂いているかを把握したいと考えております。転送して頂いている方は、そのネットワーク、もしくは団体のお名前と人数をお教え頂ければと思います。 E-mail : ecomomail@ecomomail.jp FAX : 03-3221-6674

・送付先について

このメールマガジンをなるべく E-mail で送付させて頂きたいと思っております。アドレスをお持ちの方はご連絡ください。 E-mail : ecomomail@ecomomail.jp FAX : 03-3221-6674

コラム

松森果林さん「星の音が聴こえますか」(筑摩書房)を出版

聴力を失って知った新たな世界

10代での失聴、手話との出会い、「聞こえない母親」としての育児。

今、ユニバーサルデザイン界で活躍中の著者が生活場面のなかで、聞こえないがゆえに遭遇した数々の体験(事件)が紹介されている。

先般、交通バリアフリー推進ネットワークの大会があり、駅のバリアフリーを積極的に推進している営団地下鉄さんが表彰を受けた。

担当の佐藤高課長は、エレベータが設置できない駅にどうしたらエレベータが設置できるか、以前は用地の取得が困難であきらめていた駅についても、さまざまな手段を考え、最終的に用地取得が必要な場合は、地権者に日参し協力を求めているとのこと。例えば寒い時期はコタツに入りながら相談を続けたことも何度もあったと話されている。

その成功例が東西線早稲田駅である。ここは民家の軒先を借りて玄関の隣にエレベータを設置している。そのエレベータで車いすの方が利用されている姿を見たら、佐藤さんは大変な感激を受けるだろう。

急ピッチで進むヨーロッパの高齢者、障害者に配慮したルールづくり

先般、CEN(欧州標準化委員会)の交通分野のルールづくりの委員会に出席した。

9月の末に開かれた第1回の会合で、そのルールを「今年の12月まで3ヶ月間で作成する。」と議長から発言があり、委員の中から時間的余裕がない。もっと議論を積むべきだとのもっともな意見があったが、議長はそれにひるむことなく、「委員のメンバーは交通分野の専門家ばかりで、充分に何を定めるか分かるはず、担当者が分担して作業すれば可能」であると第2回目の委員会を決めた。

このあと、2回目の委員会の資料が送られてきたものを見ると、まだ少し検討事項は残っているものの、ほぼ最終稿に近いドラフトができあがっている。日本のように細かいガイドラインではないが、理念とやるべき方向性がちゃんとマトリックスされているのである。早い、早い。拍手である。